

節分会のご案内

霊園にて恒例の節分会（豆まき）を今年も行います。お豆を沢山ご用意しておりますので、是非ご参加ください。拾ったお豆は、お持ち帰りいただく。一月三日に「自宅」で家族揃って「福は内!」と声をあげて今年一年の無病息災をお祈りいたします。また、素晴らしい日本の文化を後世にお伝えするために、是非お子様、お孫様をお連れください。特に厄年の方は、是非ご参加されますようご案内いたします。

記

- ◇とき 一月二十八日（日）午後二時より
- ◇場所 浦和霊園 二階礼拝堂
- ◇申込 管理事務所 ☎048-812-1121
- ◇参加費 一世帯あたり人数に関係なく金二千元（お持ち帰り用福豆）

厄年に当たる方

- 男性 四歳・二十五歳・四十二歳・六十一歳
 - 女性 四歳・十九歳・三十三歳・六十一歳
- ※各年齢の前後に前厄・後厄があります。



【仏教勉強会のご案内】

毎月第三日曜日（三月、五月、八月を除く）
 ◇場所…浦和駅前 大松院 本院
 ◇時間…午前十時〜午後十二時
 ◇参加費…無料
 二月十八日 写仏
 四月十五日 写経
 六月十七日 宗派の違いって何？
 七月十五日 写仏
 九月十六日 お釈迦様の教え

写経、写仏の道具はこちらで用意します。常用の筆のある方はお持ちください。
 参加希望の方はお手数ですが、左記にご連絡をお願いします。
 大松院 ☎048-882-9205
 霊園 ☎048-812-1121

平成30年回忌表

1周忌	平成29年
3回忌	平成28年
7回忌	平成24年
13回忌	平成18年
17回忌	平成14年
23回忌	平成8年
27回忌	平成4年
33回忌	昭和61年
50回忌	昭和44年



浦和霊園だより

VOL. 17
 平成三十年正月号
 電話 048-822-9205
 FAX 048-882-9228

年頭のご挨拶



大松院住職 片岡智鶴

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、より良き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は大松院には、三浦僧正と小林智観尼、二名の若い力を得て新しい企画にも取り組みました。「送り火の夕べ」や「仏教勉強会」等のイベント、また本院での行事等、活発に行いました。さて、今年も戊午年です。戊午は物事が結実する年と云われています。また、ビジネスや交友関係の中でのコミュニケーションに良い結果が表れる年になるといわれています。更には、努力が報われ、形になるのが戌年といわれています。

人間と犬との間には、沢山の愛情物

心と言葉と行いを清めよう

新しい年を迎え、新たな気持ちでの一年に臨むにあたり、お大師様の言葉を一つ紹介させていただきます。

「一切衆生を觀るになおし

己身および四恩のごとし」

すべての生きとし生けるものを思う時、その中に自分や親兄弟、国家や全ての人々、そして仏様の姿を見なさい。決して縁もゆかりもない他人ではないのだから、全ての生きとし生けるものに慈悲を持って接しなさい。ということ。そうした生き方をするために、仏教では十の「戒（仏様との約束ごと）」、十善戒というものがああります。

- ① 不殺生…殺してはいけない
- ② 不偷盗…盗んではいけない
- ③ 不邪淫…道徳に外れた関係を持たない
- ④ 不妄語…嘘をついてはいけない
- ⑤ 不綺語…お世辞など無意味に飾り立てた言葉を使わない
- ⑥ 不悪口…乱暴な言葉を使わない
- ⑦ 不両舌…二枚舌を使うなど、筋の通らないことを言わない
- ⑧ 不慳貪…欲深いことをしない
- ⑨ 不瞋恚…耐え忍んで怒らない
- ⑩ 不邪見…間違った考え方をしない

つまり、私たちの心と言葉と行いを調えることが、仏さまの道を生きていくことであり、私たちが心安らかに暮らせる方法であるということです。今年一年、この十の戒を心にとどめ、良い一年にしたいものです。

今年の行事予定

- 節分祭 一月二十八日
- 合同慰霊祭 七月十三日 八月十三日
- 送り火の夕べ 八月十五日

本院 大松院のご案内

JR浦和駅東口下車、徒歩5分の所にあります。



行事開催報告

◇合同慰霊祭（お盆のご供養）

昨年よりお盆のご供養の為に始めさせていただきました。七月十三日と八月十三日の2回にわたり行ったところ、大勢の皆様のご参加をいただき、賑やかなお盆のご供養ができました。本年も七月十三日・八月十三日の両日に開催する予定です。皆様のご参加をお待ち申し上げます。また、ご希望の方にはご自宅での個別のご供養もいたしますので、お気軽に霊園事務所までご相談ください。



合同慰霊祭でのお焼香

◇送り火の夕べ

毎年恒例となっており、今年も、八月十五日十七時の夕べ。今年も、八月十五日十七時



皆様のご先祖様をお送りする灯籠

より法話、十八時頃よりお焚き上げをお勤め致しました。今年は、日中から激しい雨で駐車場でのお焚き上げができるか心配されましたが、法螺貝の音と共に雨が上がり、皆さんあまり濡れることなくご先祖様をお送りすることができました。古来より日本で行われてきたご先祖様をお迎えし、ご接待する心。感謝の気持ちでお送りするお盆の文化をこれからも大切にしていきたいと存じます。今年もたくさんのご参加お待ちしております。



会館前でのお焚きあげ

◇法話会&葬儀セミナー

昨年、十月十七日 ニチリヨク・愛彩花の協賛、ご協力をいただき法話会と葬儀に関するセミナーを開催しました。十一時より法話をさせていただき、なぜ葬儀を行うのか、法事とはどのようなことを行っているのか、といったことをスライドを見ながらお話しさせていただきました。時間の都合上、全てをお話しすることはできませんでしたが、少しでも皆さんに仏事の意味合いを知っていただければと思いました。



愛彩花による葬儀セミナー

◇仏教勉強会報告（本院）

昨年は七月、九月、十月、十一月、十二月の計5回、勉強会を行いました。七月は「お布施・戒名ってどんな意味があるの？」というテーマでお話しをさせていただきました。布施、戒名と聞くと、亡くなった後に関係するものと考えられる方が多いと思いますが、「布施」も戒名の「戒」も、本来は生きていながら活かすことのできる仏さまの教えです。

例えば、布施というお金というイメージが強いかもしれませんが、本来、布施とは誰かに何かをしてあげること、優しい言葉をかけたり、手助けをしてあげたりすることも立派な布施（仏教の修行）になります。

私たちはつい「自分が自分」と考えてしまいます。しかし考えてみてください。例えば一人で何かを達成した時よりも、みんなが力を合わせて達成した時の方が喜びが大きくはないですか。人というのは周りの人と喜びを分かち合った時にこそ、本当の幸せを実感できるのだと私は思います。誰かのために何かをしてあげること（布施）は、つい自分中心に物事を



楽しくお話しながら仏教の勉強

考えてしまう私たちに、幸せに生きていくために本当に大切なことは何かを思い出させてくれる仏様の教えです。このように日ごろ耳にする仏教の言葉も、その本当の意味を知ること、日々の生活をより豊かにしてくれます。勉強会ではこうした仏教の知識に関するお話のほか、写経や写仏なども行っています。写経や写仏はお手本を半紙の下に敷き、それをなぞる形で行いますので、経験のない方でも気軽に取り組んでいただけます。堅苦しいことはなく、和気あいあいと行っておりますので、お気軽にぜひご参加ください。

昼食をはさみ、午後は愛彩花の木村様より最近話題になっている「家族葬」について、また、家族に万が一の時にどのような手続きや葬儀の段取りが必要なのか、といったことを懇切丁寧にお話しいただきました。各ご家庭で色々違いはあるとは思いますが、ある程度準備することをご理解いただけたのではないかと思います。霊園としましては、このような機会をこれからも提供したいと考えております。今年も、五月くらいに開催できればと思います。霊園日より、愛彩花クラブ会報誌などで告知していく予定です。よろしくお願い致します。